

平成 30 年度第 4 回島田市文化芸術推進協議会 議事概要

1 日時 平成 31 年 2 月 21 日（木） 午前 10 時～午前 11 時 45 分

2 場所 市役所会議棟 2 階 D 会議室

3 出席者

(1) 委員

松本委員、岡村委員、小栗委員、岸委員、沼田委員、松永委員、山本委員
(10 人中 7 人出席)

※欠席委員 森澤委員、片川委員、高橋委員

(2) 事務局

教育部文化課 太田課長、新聞課長補佐、石間主査、杉野主事

(3) 傍聴者

0 名

4 概要

(1) 開会

(2) 報告事項

次の点について事務局から報告した。

- ・島田市文化芸術推進計画策定の視点の検討について
- ・島田市文化芸術推進計画づくりのイメージについて

※委員からの意見等はなし。

(3) 協議事項

- (1) 文化芸術推進計画の柱について
- (2) 文化芸術推進計画の基本理念について

「○」委員からの質問・意見等

「→」事務局からの回答等

- ：基本理念に「誰もが」とある。文化芸術推進計画は行政計画であるが、「誰もが」という言葉を基本理念に示していることについて説明をお願いしたい。

- ：資料2に示されている計画の基本理念（案）について、策定ワーキングでは「市民が文化・芸術によって」としていた。策定ワーキングの協議の中で、障害者や外国人等への配慮といった視点から、このような方々を包括した「誰もが」に変えた経緯がある。
- ：行政が具体的な施策を示し、推進していく計画であれば、「誰もが」という言葉は適さないかもしれない。文化芸術推進計画は、島田市に関係する全ての人々が文化・芸術に係わることで、幸せになっていくというイメージを持っている。このため、基本理念の案に「誰もが」というワードを示している。
- ：「誰もが」には、行政も関わりを持っていくことを含め、市民、企業、行政等としてほしい。
- ：基本理念に含むことは難しいように思うので、方針または施策に示していくことになると思う。
- ：「官」も「民」も協働して推進していくという意識を入れたいと思う。
- ：今後検討していくであろう「体制づくり」で市民、企業、行政等、様々な立場の人が、それぞれの立場でやれることを示していきたいと思う。
- ：資料2の基本方針（案）に「まもる」とあるが、現状のものを守ることは良いことだと思う。
- ：島田の宝を守ることができなければ、その宝を後世に伝えることはできない。「保全」があってこそその「活用」であることを示していきたい。
- ：基本方針（案）の「まもる」は、保全と伝達を合わせ持っているという意味でよろしいか。
- ：はい。
- ：策定ワーキングの中でも文化・芸術の「活用」ばかりが強く示されているという意見があった。資源をしっかりと守ってきたからこそ活用ができる。島田には守ってきたものがたくさんあると思う。
- ：どんなものでも、そのものに価値がなければ活用はできないと思う。
- ：「まもる」、「はぐくむ」、「つくりだす」、「つなげる」といった一連の流れは良いと思う。官と民では価値観が違っていると感じているため、民からの視点では4つの基本方針と個々の施策が結びつくことに違和感を覚える。民間企業の立場では、文化・芸術活動を宣伝活動のひとつとして考えるのではないか。一企業や一商品の新しいファンを獲得するための宣伝活動の一部を行政が行うことは難しいのではないか。
- ：個別の商品を宣伝することは難しいが、商品を通して「島田」というブランド力が上がるのであれば、行政も行うことができるのではないか。
- ：「島田の逸品」というものがある。一つの商品をPRすることはできないが、いくつかの品を合わせて、「島田の誇る産品」として発信している。

- ：企業と行政が一緒に何かをすることで、企業の全ての面においてメリットが得られるとは限らないが、部分的には得られるメリットがあると思う。
- ：企業が文化・芸術活動を行いたいと思った時に、この計画を指針のようなものにしてほしい。委員の方々はそれぞれの立場で、基本理念や基本方針を考えてほしい。
- ：企業のメリットといった点では補助金制度があると思うが、この計画ができることにより、新たな補助金制度ができることはあるか。
- ：補助金という形になるかはわからないが、行政が企業や市民をサポートするような施策を含めていきたい。企業は島田固有の資源にストーリーを付けて商品化する等ができるのではないかと思う。まだ知られていない、または埋もれてしまっている島田固有の素晴らしい資源がたくさんあると思う。まずはこのような資源を見つけ出し、見つけ出した資源をどう守っていくかを考えていきたい。
- ：「まもる」という言葉より、「見つける」といった言葉の方が積極的に感じる。島田の歴史資源といった点では、街道文化など江戸時代以降の印象があるが、江戸時代以前の島田市はどのようなようであったか。
- ：街道としての文化は江戸時代以降になるが、江戸時代以前も東西の交通の要所であった。
- 「みつける」といったキーワードが歴史的な資源を見つけるというよりは、眠っている資源を見出すという意味のように思うので「つくりだす」に係わるように思う。「まもる」とは少し異なるが、「みつける」という視点は良いように思う。
- ：「まもる」ことも「つくりだす」ことも必要で、実際の行動は同じように思う。基本方針を3つにしたら、よりすっきりするのではないか。
- ：知られていない資源という話があったが、文化団体の活動は縦割りが多く、市内で行われている活動を市民が知らないことが多いと思う。
- ：行政も縦割りといった印象が強い。文化・芸術活動を行うためには風通しをよくすることが必要ではないか。
- ：行政に限らず、文化・芸術は異なる分野を繋ぐことができるのではないか。
- ：「島田らしさを紡ぎ」といったフレーズは、すべての人に安心感を与え、良いと思う。
- ：平仮名で示された基本方針は身近に感じて良い。「まもる」、「はぐくむ」、「つくりだす」、「つなげる」の4つに対して、「交流」、「景観」、「人と場」の3つの掛け合わせはバランスが良いと思うが、「見つける」や「伝える」という言葉も必要だと感じる。まだ出ていない言葉を基本方針に組み込んでいきたい。

基本理念の中に「島田」が2つあることに違和感を覚える。

○：どちらか1つの「しまだ」を一言で表すような言葉にしたらいのではないか。京都の「古都」、大阪の「水都」のように、島田を言い換えることの出来るワードはないか。

→：昔は「木都しまだ」などというフレーズがあった。このようなフレーズを探す必要がある。

→：大井川に多くの水が流れていた頃は、水流に乗せて木材等を運んでいた。水が少なくなった大井川は生活から離れ、身近でなくなってしまったように思う。

→：大井川に流れている水は少ないが、伏流水は大量に流れている。そういった意味では、島田市が大井川の恩恵を受けていることは間違いないと思う。

○：すべての源泉が大井川にあると思う。

○：大井川の水が「島田らしさ」であると思うが、目に見えるものであった方が市民に浸透していくように思う。

→：大井川をどう反映していくか、策定委員会に諮っていききたい。

→：大井川など協議会で出た意見やキーワードを含め、基本理念、基本方針をつくっていききたい。

○：「街道」はどうか。

○：東海道であれば、どこにでも街道があるように思う。川留めにより育まれてきたことが「島田」の特徴ではないか。水の美味しさをもっとPRしてもいいように思う。

○：「杜の都仙台」、「平和のまち広島」のようなものがほしいと思う。

仙台では音楽のまちとして「仙台ジャズストリート」などを開催している。これは、文化・芸術のイベントとして分かりやすく、市民等に浸透しているのではないか。このようなものが島田にもあれば文化・芸術が市民に浸透していくように思う。

大井川を舞台とした施策がいいのではないか。今あるものとこれから育ていくことを絡めていくことができれば良いと思う。

○：音楽は集客できるが、どこかの市町の二番煎じになってしまうと思う。リパティのマラソンコースは他の市町にはないもののように思う。「健康」もキーワードにできるのではないか。文化・芸術により心と体を豊かにするといったイメージはどうか。

○：文化芸術推進計画に「健康」を含めても良いか。

→：必要であれば問題ないと思う。基本理念や基本方針というよりは施策の中に入れてくるように思う。

○：心豊かであるためには体も健康である必要がある。

- ：伏流水の話のように、表に出ていない資源を掘り起こすことも必要であると思う。見つけて、知って、その後育む。リバティの話があったが、河川敷でイベントをやることはいいと思う。
- ：天候等を考えると屋内でイベントを行いたい。おおりの入口はもっとうまく使えるように思う。
- ：博物館の活用についても議論していきたい。イベントを行う人と博物館が繋がっていないように思う。博物館についてはもっと上手く活用できるように思う。
- ：博物館は駅から遠く、車を使わなければ行けないという課題があるように思う。
- ：川越し遺跡の近くにあるという強みを活かし、ここでしか見ることのできないものをもっとPRしていきたい。
- ：時間もないのでフリートーキングにしたい。
- ：大井川は川根、島田、金谷、初倉までと市内全域に係わっているので、島田市内の繋がりといった点でキーワードになると思う。
- ：島田の水を使うメリットはあるか。
- ：味も成分もいいが、同じようなレベルの水は全国にたくさんある。島田の水の質が特別良いわけではないが、量は多い方だと思う。
- ：今年度は骨子案の完成を目指している。具体的な施策をイメージしながら、今まで出されたキーワードを基に基本理念、基本方針を固めていきたい。
- ：最後に1つ、基本理念（案）の中の「文化・芸術」の「・」は必要か。
- ：文化芸術は法律用語。分かりやすいように「文化・芸術」としている。
- ：文化芸術推進計画には入っていない。「文化芸術」は造語であったが、最近は大いぶ馴染んできた感じがある。本文とタイトルが違うことに違和感を覚える。
- ：この点については策定委員会に諮ることとしたい。
- ：様々な意見がでたが、事務局案を協議会として了承してよろしいか。
- ：はい。

(4) その他

- ・ 本日の協議内容を踏まえ、骨子案を策定委員会に図る。
- ・ 次回は来年度の開催となり、今年度作成した骨子案と文化芸術推進計画の具体的施策の検討をおこなっていく。

(5) 閉会